

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

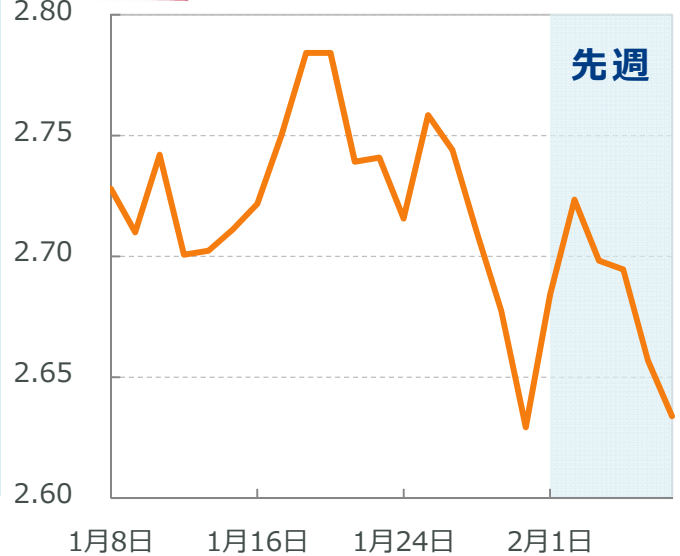
※データ期間は2019年1月8日から2019年2月8日（日次）

【2019年2月4日～2019年2月8日】

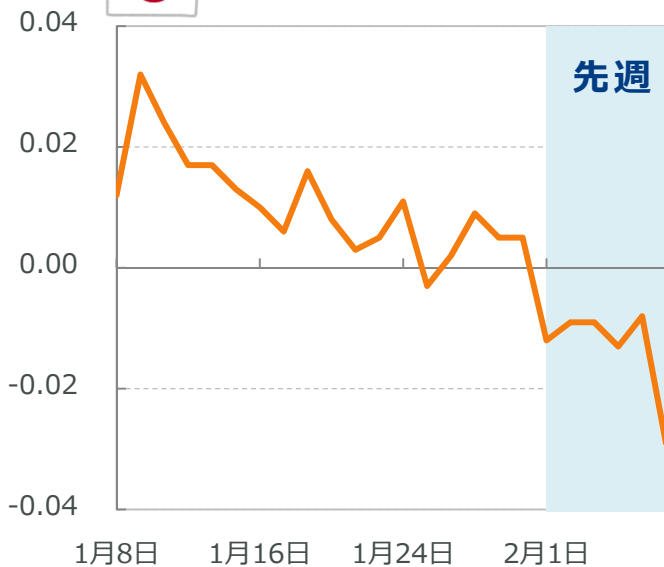
債券買いの動き広がる

- ◆米中貿易摩擦の先行きへの警戒感が強まったことや、各国・地域における経済成長見通しの下方修正を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、債券の買いが優勢となりました（価格上昇・利回り低下）。
- ◆国内債券利回りは週を通じてマイナス圏で推移しました。

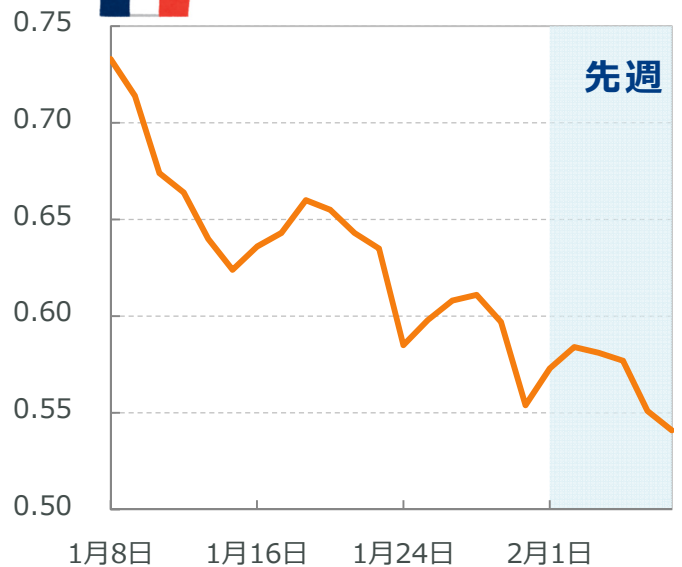
(%)  米国10年国債利回り



(%)  日本10年国債利回り



(%)  フランス10年国債利回り



出所：Bloomberg 1/2

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみざん

大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ちょこツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

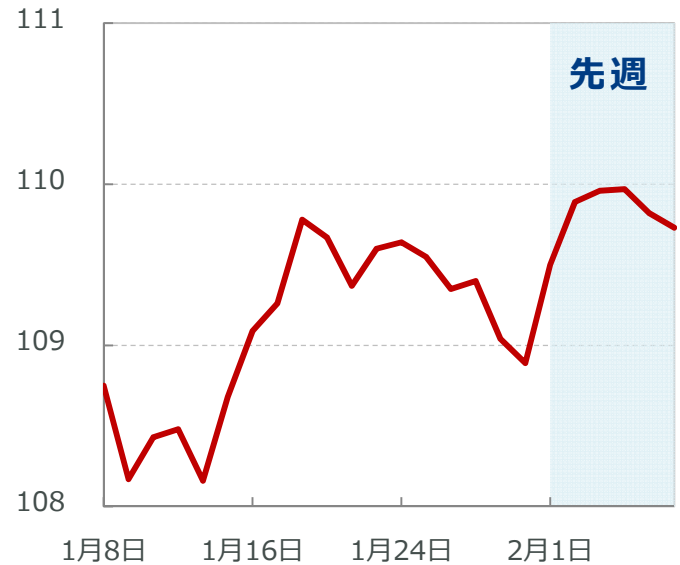
※データ期間は2019年1月8日から2019年2月8日（日次）

【2019年2月4日～2019年2月8日】

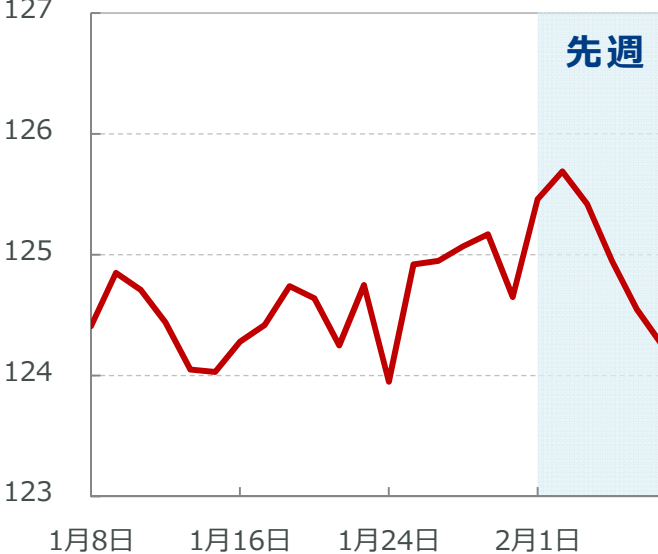
円は対ユーロ、対豪ドルで上昇

- ◆米中貿易摩擦に解消の兆しが見られないことなどを背景に、円の買いが優勢となりました。欧州委員会による2019年の経済見通しの引き下げを受けて円は対ユーロで上昇、RBA（豪州準備銀行）の中立的な金融政策への転換が豪ドル売り圧力となり、円は対豪ドルで強含みました。
- ◆一方、トランプ米大統領とパウエルFRB議長の会談や11月の米貿易赤字の縮小などが米ドルの支援材料となり、円は対米ドルでは小幅な動きとなりました。

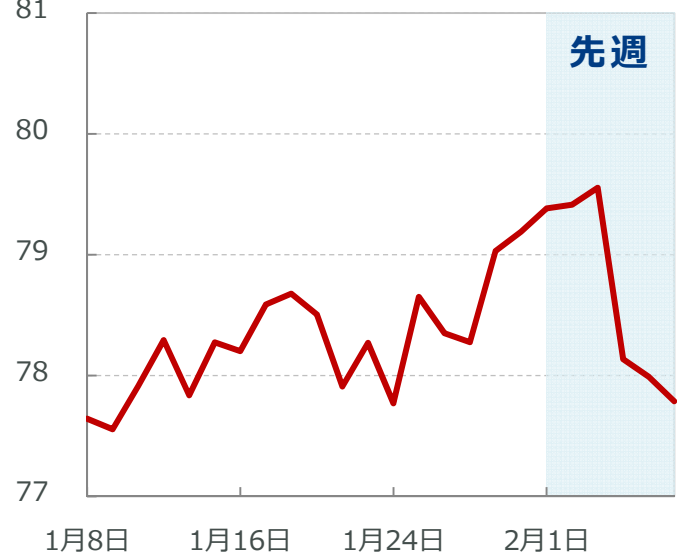
(円)  **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



出所：Bloomberg **2/2**

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみぞん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会